

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

| | | | | | | | |
|--|---|------------------------|--|------------------|------|--------|---------------|
| 事業名 | 高齢者の体力づくり支援事業 | 担当部局庁 | スポーツ・青少年局 | 作成責任者 | | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成24年度 | 担当課室 | スポーツ振興課 | スポーツ振興課長 嶋倉 剛 | | | |
| 会計区分 | 一般会計 | 施策名 | X II-2 生涯スポーツ社会の実現 | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | スポーツ基本法第21条 | 関係する計画、 通知等 | スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内) | 超高齢社会を迎えた我が国においては、高齢者の心身の健康や体力の保持増進を支援することは、国の重要な責務であるとともに、高齢者が生き甲斐を持って健康で活力ある生活を営むためには、定期的、継続的な運動・スポーツが不可欠である。そこで、生活基盤の比重が仕事中心から地域社会へ大きく移行する年齢層が、それぞれの適性や健康状態に応じて無理なく継続できる運動・スポーツプログラムの普及啓発等を行い、健康で活力に満ちた長寿社会を実現する。 | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。 別添可) | 地域における生活に比重が移行していく年齢層が、地域社会に参加し、積極的な役割を得ることができるような運動・スポーツプログラム等の普及啓発を図るため、同プログラムを各都道府県において実践及びデータ収集を行い、そのプログラムを継続的に実施するための方策等について調査研究を行う。 また、高齢者の体力づくりの現状、課題、今後のあり方について提言を行うなど、高齢者の体力づくりを総合的に論じるシンポジウムを開催し、高齢者の体力づくりに係る意識の醸成を図る。 | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 | |
| | 予算の 状況 | 当初予算 | | | | 97 | 80 |
| | | 補正予算 | | | | | |
| | | 繰越し等 | | | | | |
| | | 計 | | | | 97 | 80 |
| | | 執行額 | | | | | |
| | 執行率(%) | | | | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (28年度) |
| | 成人の週1回以上のスポーツ実施率 (内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」 を基に推計)(22・23年度は調査せず) | 成果実績 | % | — | — | — | 65 |
| | | 達成度 | % | — | — | — | |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | 本事業は調査研究を行うもので、その活動実績 を数値で表すことができない。 | 活動実績 (当初見込み) | 回 | — | — | — | — |
| | | | | () | () | () | () |
| 単位当たり コスト | - | 算出根拠 | | - | | | |
| 平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | |
| | 職員旅費 | 0.3百万円 | 0.3百万円 | | | | |
| | スポーツ振興事業委託費 | 97百万円 | 80百万円 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 計 | 97百万円 | 80百万円 | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|--|--|--|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | 高齢者に対するスポーツ参加機会の拡充を図る当事業は、生涯を通じた住民のスポーツ参加の基盤となるものであり、スポーツ立国戦略及びスポーツ基本計画において国による取組の必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | － | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、費目・使途 | ○ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | 一般競争入札(総合評価落札方式)により、選定委員会の厳正な審査並びに入札を経て厳正に支出先が選定されている。 |
| | － | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | － | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | － | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | － | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | － | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | |
| | － | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | － | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | － | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | － | ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| － | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | | |
| 点検結果 | <p>当事業は、高齢者がそれぞれの適性や健康状態に応じて無理なく継続できる運動・スポーツプログラムの普及啓発等を行うものであり、その効果の検証等に相当程度期間を要することから、複数年度に渡って実施する必要がある。</p> | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| | <p>本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p> | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| <p>補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p> <p>スポーツ基本法について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm スポーツ基本計画について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</p> | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | - | 平成23年行政事業レビュー | 新24-0034 |

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
97百万円

・職員旅費 0.3百万円を含む

地域における生活に比重が移行していく年齢層が、地域社会に参加し、積極的な役割を得ることができるような運動・スポーツプログラム等の普及啓発及びそのプログラムを継続的に実施するための方策等の調査研究を行う。



【総合評価入札・委託】

A. 民間企業等
97百万円

・体力づくり支援委員会の開催
・体力づくり支援策の普及啓発等
・体力づくりシンポジウムの実施

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

